

# ネットワークニュース



発行/苫小牧市消費者被害防止ネットワーク事務局  
 (苫小牧市市民生活部市民生活課消費生活担当 ☎32-6306)

## リチウムイオン電池の発熱・発火に注意しましょう！

リチウムイオン電池は、スマートフォン、モバイルバッテリー、ハンディファンなど様々な製品に使われており、今や私たちの生活に欠かせない存在となっています。一方で、リチウムイオン電池は熱や衝撃に弱いいため、近年は電車内でカバンに入れていたモバイルバッテリー等から発煙・発火したという事故もしばしば起きています。

### リチウムイオン電池の主な形状



円筒形



角型



ラミネート型

### リチウムイオン電池が使われている製品例



電動工具

充電式掃除機

スマホ・PC

デジタルカメラ

モバイルバッテリー

加熱式たばこ

電気シェーバー

ハンディファン

## こんな事故が起きています

- ①充電中のハンディファンから異音と出火があり、軽いやけどを負った。
- ②車内の運転席に長時間放置していたモバイルバッテリーが異常発熱して発火した。
- ③夜から朝にかけて充電中のスマートフォンが右下腿に接していた影響で、水泡と紅斑ができた。

## 事故を防ぐために

- ①充電端子に異常を感じたら使用を中止する。
- ②リチウムイオン電池に膨張がみられたら使用を中止する。
- ③接続する機器の仕様にあった充電器を使用する。
- ④リチウムイオン電池が搭載された機器を熱がこもる環境に置かない。
- ⑤製造販売元や型式・仕様が不明確な製品の購入は避ける。

※裏面にリチウムイオン電池の捨て方

消費者トラブルで困ったときは 苫小牧市消費者センターへ

住所：苫小牧市若草町3-3-8 市民活動センター3階

受付：平日8時45分～17時15分

第2・第4金曜日は、20時00分まで（夜間は予約制）

電話：33-6510又は局番なし188



消費者庁 消費者ホットライン188  
 イメージキャラクター イヤヤン

## リチウムイオン電池は有害ごみです！

苫小牧市において、令和7年5月15日（木）に収集したプラスチックごみに電動工具用の廃バッテリー（リチウムイオン電池）が混入し、選別工場で発火する事案が発生しました。対応が早く火災にはならなかったものの、一歩間違えると火災事故につながりかねない状況でした。



発火して変形したバッテリー

近年、リチウムイオン電池による火災は全国的にも多発しており、大きな問題となっています。リチウムイオン電池を廃棄する際は、有害ごみとして**透明又は半透明の袋に入れ、燃やせるごみの日**に出しましょう。

## 市内の小学校で消費生活出前講座を行いました！

令和7年9月3日（水）に若草小学校、9月9日（火）に苫小牧東小学校において、5年生を対象とした「消費生活出前講座」を行いました。講師は消費者センター相談員が務め、契約の仕組みや買い物の注意点のほか、消費者トラブルに巻き込まれないために必要なことをお伝えしました。また、講座の最後に児童の中から出演者を決めて『オンラインゲームの甘い罠～まずいと思っても隠さない！～』と題した寸劇を演じていただきました。

今年度、小学生を対象とした出前講座を初めて実施し、予定していた講座は全て終了しましたが、来年度以降も継続して取り組んでいきます。先生、児童の皆さん、御協力ありがとうございました！



【若草小学校】



【苫小牧東小学校】

### 〔お問合せ〕

苫小牧市市民生活部市民生活課消費生活担当

住所：若草町3丁目3番8号 市民活動センター3階

電話：32-6306



とまこま市消費生活センター